

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ススミダス		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 3日		～ 2025年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 3人
○従業者評価実施期間	2025年 2月 3日		～ 2025年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが安心して過ごせる環境であること	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントから始め、子どもの発達段階に合わせた環境設定を行っている ・子どもが自発的な要求を表出できる仕組み作りに取り組んでいる ・施設内清掃を外部委託するとともに、職員が清掃に取り組み、清潔な環境を保持できるようにしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員配置を工夫し、子どもの興味関心や発達段階に合わせた活動に取り組めるようにする
2	職員が学べる場があること	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回、専門職によるコンサルテーションを実施し、助言・指導を受けている ・月に1回、身体拘束の適正化・虐待防止に関する研修を実施している 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの人権に関する研修を計画し実施する ・専門種奥による子どもの発達や特性に関する研修を計画し実施する
3	法人内に協力体制があること	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内の成人施設、保育園の各拠点と情報共有ができています ・行事や突発的なことがあった時に各拠点に協力を仰ぐことができます 	<ul style="list-style-type: none"> ・各拠点にススミダスの行事、事故予防の取り組みを周知する ・職員は各拠点の非常時訓練に参加しススミダスの訓練、事故予防に活用する

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員全員で目標設定や振り返りの場に参加することが難しい	職員数は設置基準を満たしているが、職員全員が支援現場から離れることは難しい。	職員全員が会議に参加できるよう会議開催の日にちを調整する 同じテーマで話せる場を複数回設け、職員が交代で参加できる仕組みを作る
2	ススミダスで有効な手立てはあるが、家庭の中で役立つまでに至っていない	家庭の気づき、困り感は家庭ごとに異なる。学校での手立てや指導を把握し理解する力が弱い。	面談や連絡帳から得た情報をもとに、各課家庭の状況把握、理解を進める仕組み作り 学校の教育指導計画の提供を受け、学校、保護者と連携できるようにする 日頃から保護者とコミュニケーションをとるよう心掛ける
3	非常時の対応	非常時のマニュアルはあるが、職員は内容の理解が浅い。	研修・訓練に計画的に取り組めるよう研修計画を作成し実施する